



# タイちゃんだより



発行者  
柏崎総合医療センター  
看護部長室  
新春号  
令和5年1月11日  
第35号

12月は記録的豪雪や新型コロナウイルス感染症が蔓延し、予定の院内研修や会議が中止や延期、分散研修となりました。年末の慌ただしさが続いたまま新年のスタートとなりました。卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴になります。さらに、たくさんの子を産むことから豊穡、子孫繁栄のシンボルになっています。新しい年に希望や願いをこめて、気持ちを新たに進んでいけたらと思います。さて、年間の研修も大詰めとなり実践報告や総括の時期となりました。行動変容や実り多き学びの報告を期待しています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



**11月14～18日 新人研修（看護診断：分散）**  
入院を受け入れた事例を通して、看護診断過程の理解を深めました。

**11月14日 プリセプター研修（分散）**  
プリセプターの技術習得状況について、未修得の要因や課題、具体的解決策について検討しました。目標に向けてチームで支援していきましょう。

**12月7、14、29日 師長実践報告会in柏崎**  
看護管理の実践をパワーポイントにまとめプレゼンテーションをしました。経験と学びを共有しこれからの管理実践に繋げていきます。代表者1名は、2月25日開催の厚生連看護管理研修（看護師長）「看護管理実践発表会」で発表します。

**2月8日 原子力災害時避難計画 机上訓練**  
原子力災害時に柏崎総合医療センターの職員として、どのように対処・活動すればよいかを考えました。  
～職員と入院患者が安全に避難することで、防ぎえた災害死を最小にする～



## 救急救命士資格取得後就業前の病院実習、生涯教育のための病院実習を受け入れています！

救急救命士の業務に係わる手技の習得、見学や介助を通しての医療機関で行われる救急処置の理解、救急患者が受ける治療内容を学びます。また、就業後も医療の進歩に対応する知識と技術の習熟、これまでに習得した技術の検証、医療との連携の維持などを目的として、病院実習を一定期間ごとに継続して行うことが必要とされています。地域医療を共に担う救急救命士の実習にご協力をお願いいたします。

## コロナ禍の今、あらためて考える 《看護ケアにこだわりを持つ》

- ♥ 看護を、患者・ご家族を主役にして検討する思考が、医療者の時間軸の中でこなす業務となったら、それは看護業務ではなく、ただの業務なのかもしれません。
- ♥ 看護師が実践する看護ケアは、看護実践能力に裏づけされたケアであり、ケアの質が担保される看護業務であることが必要です。
- ♥ 看護を伝える力～看護ケアを通してアセスメントしたことを、医師や関わる多職種に言語化して伝えていくことで、看護の力をもっと発揮していくことができるはずです。

「できるナースと言われるために5年目までに知っておきたい108のこと」より引用



### 1～3月の研修予定

- 1月11日 新人研修（受持ち看護師、コミュニケーション）
- 1月12、17日 補助員研修（安全な移乗、移動の介助）
- 1月18日 マネジメント研修（令和3年度フォローアップ）
- 1月31日 マネジメント研修③（人材育成） / 褥瘡研修
- 2月8、9日 新人研修（心に残った看護発表会）
- 2月22日 プリセプター研修
- 2月中 新人研修（入退院支援：分散）



コロナ感染拡大の影響で延期された研修が開催されます

- 2月3日 トピックス研修
- 2月21日 看護研究発表会
- 2月中 補助員研修（オムツ交換）
- 3月8、15日 令和5年度プリセプター準備研修